

案件概要書

2019 年 4 月 23 日

国際協力機構南アジア部南アジア第二課

1. 基本情報

- (1) 国名：パキスタン・イスラム共和国（以下、「パキスタン」という。）
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：シンド州ハイデラバード県（人口：1,059 万人）
- (3) 案件名：シンド州母子保健医療施設拡充計画（The Project for the Extension of Maternal and Child Health Care Facilities in Sindh）
- (4) 事業の要約：本計画は、シンド州ハイデラバード県のリアクアット大学病院において、母子保健センターの拡充及び医療機材の整備を行うことにより、新生児・小児・妊産婦を対象とした母子保健にかかる診断・治療体制を強化し、シンド州における母子を対象とした保健・医療サービスの質の向上に寄与することを目的とする。

2. 事業の背景と必要性

- (1) 本計画を実施する外交的意義

パキスタンは、世界第 6 位の人口を有し、アジアと中東の接点に位置し、地政学的重要性を有するとともに、テロ撲滅に向けた国際社会の取組において重要な役割を担っている。このため、同国の安定的な発展は、アフガニスタンを始めとする周辺地域、ひいては国際社会全体の平和と安定に資する点から極めて重要。本計画は、同国の保健医療サービスの向上による人間の安全保障の確保と社会基盤の改善を通じて、同国の安定的かつ持続的な社会の構築に貢献することから、地域の平和と安定の確保に資する案件である。また、2018 年 7 月に発足したカーン新政権は、保健分野の改革を重視しており、同分野での支援を進めることは新政権との関係において重要である。以上より、本計画の外交的意義は高い。

- (2) 当該国における保健セクターの開発の現状・課題及び本計画の位置付け

パキスタンは、南アジア地域において母子保健指標（2016 年妊産婦死亡率：出生 10 万対 178、新生児死亡率：出生千対 46、5 歳未満児死亡率：出生千対 79）（世界子供白書 2017）が最も低い水準にある国の一つであり、同国同国同国政府は国家政策「Pakistan Vision 2025」において、社会セクター開発を柱の一つに掲げ、保健分野については、保健サービスへのアクセス改善を重点課題としている。特に、国民の約 3 割が貧困層（世界銀行 2016）と言われる同国において、医療費が安価な公的医療機関の強化が重要となっている。

大都市カラチを擁するシンド州における母子保健指標は同国内平均よりも低く、シンド州政府は「シンド州保健セクター戦略 2012-2020」において、医療サービスへのアクセス格差の是正を柱の一つに掲げている。また、同州では、医療施設の不足によりカラチに集中する患者を分散するため、州内各県でのリファラル体制構築を目指している。リアクアット大学病院は、医療技術者養成機能を有する総合病院であり、シンド州ハイデラバード県の中核となる公的第三次医療施設である。しかし、年々患者数が増加し、手術室や病床が不足しており、新生児・小児病床の稼働率は 514%（シンド州保健局 2017）に達する等、時宜を得た医療サービス提供が困難となっている。

本計画は、シンド州ハイデラバード県唯一の公的第三次医療施設であるリアクアット大学病院において、母子保健センターの拡充・医療機材整備を行うことにより、母子の医療サービスへのアクセス改善に貢献するものであり同国の開発戦略においても優先度の高い事業と位置付けられる。

3. 計画概要

(1) 計画内容

① 計画内容：協力準備調査で詳細を確認するが、現状は以下を想定。

ア) 施設、機材等の内容：

- ・施設：手術室及び病床の増築（産婦人科及び小児科外来、陣痛室、産婦人科病棟、新生児集中治療室、母体胎児集中治療室、検査室）
- ・機材：新施設に必要な医療機材（産前・産後健診、正常・ハイリスク分娩、新生児・小児ケア、臨床検査、放射線検査）

イ) コンサルティング・サービス／ソフトコンポーネントの内容：詳細設計、入札補助、施工・調達監理、調達機材の運営・維持管理に係る研修

ウ) 調達・施工方法：本邦／第三国調達

② 期待される開発効果：新生児・小児病棟稼働率の改善、新生児集中医療室の患者数増加、手術・分娩件数の増加。詳細については協力準備調査を通じて確認する。

③ 計画実施機関／実施体制：シンド州保健局（Health Department, Government of Sindh）。

④ 他機関との連携・役割分担：特になし。

⑤ 運営／維持管理体制：施設完成後の病院の運営／維持管理はシンド州政府より予算配賦を受けリアクアット大学病院が担う。リアクアット大学病院は、1956年より約60年の運営／維持管理実績を有し、2017年現在、医療従事者1,546名が在籍し運営が行われている。本計画の実施により、外来・入院患者数及び手術件数の増加が見込まれることから、適切な予算の配賦及び医療人材が配置されるよう、協力準備調査にて詳細確認する。

(2) その他特記事項

① 環境社会配慮：「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2010年4月公布）上、環境への望ましくない影響は最小限であると判断されるため、カテゴリCに分類される。

② ジェンダー分類：GI（ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件）に該当し、協力準備調査にてジェンダー主流化ニーズを確認する。

5. 過去の類似案件の教訓と本計画への適用

同国の無償資金協力「イスラマバード小児病院改善計画」（評価年度2011年）の事後評価結果等では、医療機材の維持管理費用の継続的な確保の重要性が指摘されている。そのため、協力準備調査の段階において、実施機関の医療機材維持管理能力、シンド州内における代理店の有無及び機材の修理や部品交換対応等を考慮し、案件形成を行う。また、メンテナンスの重要性が高い医療機材に保守契約附帯を検討する。

以 上

[別添資料] シンド州母子保健医療施設拡充計画 地図

シンド州母子保健医療施設拡充計画 地図



出典：国連地理空間情報局



(出典：©2019 Google Map)